

平成 26 年度第 4 回（第 9 期第 6 回）浦安市廃棄物減量等推進審議会（議事要旨）

1 開催日時 平成 27 年 2 月 10 日（火）午前 10 時 00 分～正午

2 開催場所 中央図書館 2 階 視聴覚室

3 出席者

（委員）

下田会長、畑山副会長、崎野委員、島野委員、扇谷委員、道下委員、高梨委員、  
佐藤委員、大川委員、荒井委員、坪井委員

（事務局）

長峰都市環境部長、大塚都市環境部次長、熱海ごみゼロ課長、熊木ビーナスプ  
ラザ所長、奥山課長補佐、三上副主査、瀬能尾主事

4 議題

廃棄物減量等推進員制度の在り方について（答申案）

5 議事の概要

- （1） 前回は、「推進員制度の見直し」改善（案）として、「市の基本的な考え方」  
から、「推進員の位置付け・役割」、「適正人員及び選出方法」、「推進員体制」、  
「意識改革」、「知識の取得」と、それぞれの「考え方」について説明を行い、  
委員の皆様からは、多数の意見が出された。

その意見を整理し構成を見直したものを、今回、改めて審議に諮ったところ  
である。

- （2） 事務局より各種お知らせ及び今後のスケジュールについて説明。

## 6 会議経過

浦安市廃棄物減量等推進審議会規則第3条第1項により、審議会会長を議長とし、会長が議事を進行した。

### ○答申(案)について

事務局より、前回の審議経過並びに構成の見直しの説明を行い、委員による質疑を行った。

主な説明・質疑内容は次のとおり。

### 【廃棄物減量等推進員制度の在り方について（答申案）】

#### ・事務局

当初の構成案を、前回の審議会に出た多数のご意見を整理し、構成の見直しにより「答申（案）」を作成したことから、ひとまず一通り読ませていただいた後に審議を進めさせていただきたい。

(答申案を一読)

#### ・会長

事務局より説明があった答申(案)、全体的には1～4の項目で構成されており、1・2はこれまでの審議会で既に審議が行われている事項であるので、3・4について、お気づきの点や言い回し、他の方法についての質問やご意見等はないか。

#### ・委員

まず、中身の話ではなく、答申を提出した後のスケジュールを周知願いたい。

#### ・事務局

市長が、「推進員制度の在り方」を検討してほしいと、本審議会に諮問をしたことを受け、本審議会が答申を取りまとめる。市長が、この答申を受けた時点から、具体的にその内容に沿った内容になるようごみゼロ課が業務を担うこととなる。

#### ・委員

スパンとしては、「1年以内」に具体案を展開していくのか。

・事務局

基本的にはその通り。検討内容によっては、予算を付けた方が良いと判断されるものもあるため、来年度に直ぐに変えられるものから、予算の関係から翌年度にずれ込むものと若干の時間差が生じる。

・会 長

他に何かご意見は。

・委 員

推進員は市長に推薦をもらっていることから、初めに推進員の活動内容をしっかり理解できるようなブロック分けをした説明が必要ではないか。

・会 長

3Pの2-(2)-ア.の知識の習得からのご指摘と捉え、内容的には答申に盛り込まれていると考える。

・委 員

それぞれの地区の公民館等で2ヶ月に一回程度の集会を行う等して、推進委員の意見交換と市から状況把握等が必要となってくるのではないか。

現状では、隣の推進員が誰で何をしているのかが把握できない状況であるからこそ、このような活動が大切であり、これが出来れば、他の推進員とも意見交換がしやすくなるのではないか。

・会 長

答申の具体化の段階でこのような体制作りをしていかなければならないと思う。

この点については、審議会の最初から繰り返し出ていた問題点でもあることから、これを十分意識した答申案となっている。

・委 員

補足と要望として、「ごみ分別アプリ」はとても使いやすいことから、このアプリを使って、ビーナス推進員の存在や活動内容を周知することは検討できないか。

・事務局

冊子として全戸配布したものを電子化したものであり、適正排出の一手段として導入しているが、機能の一部として「お知らせ機能」があることから、この機能を使って周知することは可能と考える。

・委員

今までの議論を良くまとめていただいた「答申（案）」であると感じる。

・委員

3 pの「環境支援団」という言葉はあまり聞かない、4 pの「全体の仕事量が多く」、4 p下部の「極力推進員の負担を軽減・・・」という言葉も気になる。

推進員の業務内容は既に記載されており、「現状として負担が多くてなり手が少ない現実」であるならば、1－（1）の現状に盛り込んだ方が良いのではないかと。

・会長

文言については、事務局と既に何回か調整済みで、審議会で言った意見が洩れているとか、今のご意見のように言葉の使い方や「負担軽減」と言うような集約の仕方、ただ、この文言は審議会での検討経過の中でこれを踏まえて審議が進められている。このような集約が適正であるか等を事務局と再検討し、訂正させていただきたい。

・事務局

4の取りまとめの前提は、市が「推進に求める物」として提示した内容が、あまりに過重であることのご意見を頂いたことからであり、それを基に「負担軽減」や「実現可能な」と言う文言を追加しており、具体的な業務内容は、答申を受けてから検討していきたい。

・委員

「環境支援団体」という言葉は、あまり聞かないし使わないのではないかと。

・事務局

環境を幅広く支援しているNPO等の団体と言う意味合いで使っているが、何か他に良い呼び方はないものか。

現実に「支援」なのか「保全」なのか、適正な言い回しで修正する。

・委員

4－（1）の最後の部分、「推進員とは別に市が期待する推進活動の運営に特化した制度等の設置」という表現は分かりづらいと感じる。3－（1）と符合しているはずだが、読み取りにくい。

・事務局

意見として、これまでの位置付けとは違うものを入れた方が良いのではないかとのご意見を頂戴し、下2行のような書き方となったが、もう少しイメージしやすい

言葉に変更したいと考える。

・委員

答申とは関係ないが、部長挨拶の中で出た 3,300 t の燃え殻は、主に何なのか。

・事務局

基本的は「灰」。

・委員

紙と金属類ということか。

・事務局

金属として取れない不燃の殻も含まれておりますし、紙類も灰になりますので、塵も積もればということで、より一層の分別が必要不可欠となってきている。

・委員

余談ではあるが、この会に参加するようになり、自身の分別意識も高まっている。今では、家族を巻き込んだの分別徹底を行っている。

・会長

答申案の方に戻りまして、何かございますか。

・委員

「運営に特化した制度」の設置とは、ブロック分け程度の認識だが。

・委員

推進制度だけに頼らず、別のイベント的な物に「特化した仕組み」の話であって、具体的な話としては特に出ていなかった。

・事務局

現状の推進員とは別に企画・運営を「役割」とする組織があっても良いのではないかとの話から、このような表現となっている。

・事務局

市が期待する推進員活動について検討した中で、今ある制度とはまた違った形で活動を進めるグループとしての「制度」という意味であったり、今ある現実制度の中に何かを加える制度の見直しと言う意味であったりすることから、適正な表現になるよう会長と改めて相談をさせていただきたい。

・委員

小型家電のリサイクル等を啓発する上で、現行の制度で行うのが少し苦しいことから、環境団体等の特化したグループを入れて行った方が良いと言うような発言か

ら出たものではなかったか。

・委員

5 pの(4)より、「コスト意識を広く市民に認識させる」ことはもちろんのことだが、それを基に「行動」することが大事であり、そこを言及した方が良いのではないか。

・会長

認識だけに留まっては減量に結びつかないため、その点は盛り込んで行きたいと考える。

・委員

「行動」の話から、今ある運動にもっと色を濃くしては。例えば、ブロックごとに減量数値等を数字で表すようにすれば、次にも繋がるし、何より推進員のモチベーションも上がってくるのではないか。

・委員

実際にビーナズ推進員を経験しており、「物足りなさ」等も感じているので、この部分は良く理解できる。

・会長

認識から行動に移すには、色々な方法があるが、声掛けや数値として成果を求めよう表現が答申に反映できるようであれば検討させていただく。

・事務局

「行動」に向かっていくことは大切な部分であり、啓発だけではなく、何故、ごみを減らしていかなければならないのか、結果、どう変わっていくのかがモチベーションに繋がる。

委員の皆さんにも、ぜひ一度「最終処分場」をご覧いただき、その実態とこの場所が埋まってしまったらどうなるのかと言う様な事を市民の方に伝えていただき、「ごみは減らさないといけない」と言う認識がモチベーションとなり行動に繋がればと思う。

・委員

このままごみを捨て続けたらどうなるか、「最終処分場」の実態を自治会の集会や広報で、大々的に啓発することが手段として有効だと感じるのも、もっと自治会を利用してほしいと思う。

また、推進員については、自治会に訴えかけて年間交代ではなく2人制として年

に一人ずつ入れ替えをする方法に変更してはどうか。

・事務局

推進員の推薦にあたっては、自治会長を通じて推薦をいただいておりますが、こちらの伝え方がいけないのか、役員として何かしらの職に就いている方からの推薦がほとんどである。

事務局としては、自治会に属している人であればどなたでも良いのだが、実態として、役員が推進員となり、その役員任期の大半が1年であるため、推進員も変更となってしまっているのが実情である。

今後の連絡方法や実態に即した任期、1年が良いのか2年が良いのかは、これから検討して参りたい。

・委員

婦人の会としても何か啓発活動をしていきたいと考える。

・会長

積極的に携わってくれる団体にもご協力をいただき、市全体として、認識から更に行動へ繋げられるよう答申に盛り込んで行きたい考える。

また、今後の答申の文言の修正や微調整については、私と事務局に一任を頂いてもよろしいか。

( 一 任 )

・会長

今後の答申書の提出スケジュールについて、事務局より説明をお願いします。

・事務局

本日審議をいただいた内容で修正を行い、会長と調整した物を委員の皆様へ郵送いたしますので、改めてご確認を願いたい。また、何かございましたら事務局までご連絡いただき、その後、改めて会長との調整により、修正から提出方法等を決めたいと考える。

・会長

「その他」として、見学の件について事務局から説明をお願いします。

・事務局

(株)ハイパーサイクシステムズの見学を3月中に予定しておりましたが、議会やバスの空き状況の関係から都合がつかず、残念ながら延期とさせていただきたい。

・会 長

新年度改めて、最終処分場の見学も踏まえて日程調整を図りたいと考える  
以上を持ちまして、第6回浦安市廃棄物減量等推進審議会を終了とする。

※次回予定 5月以降